

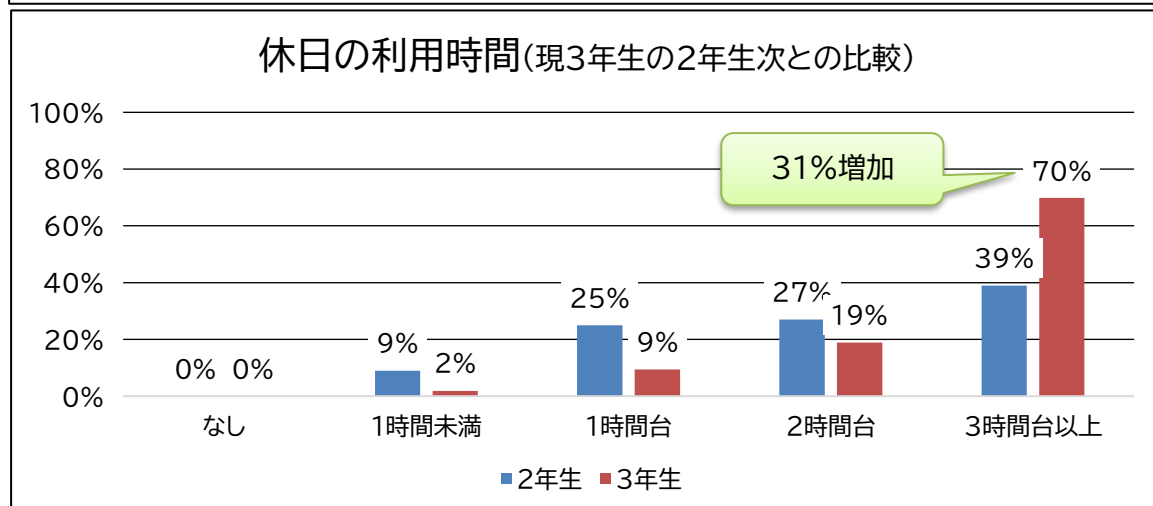
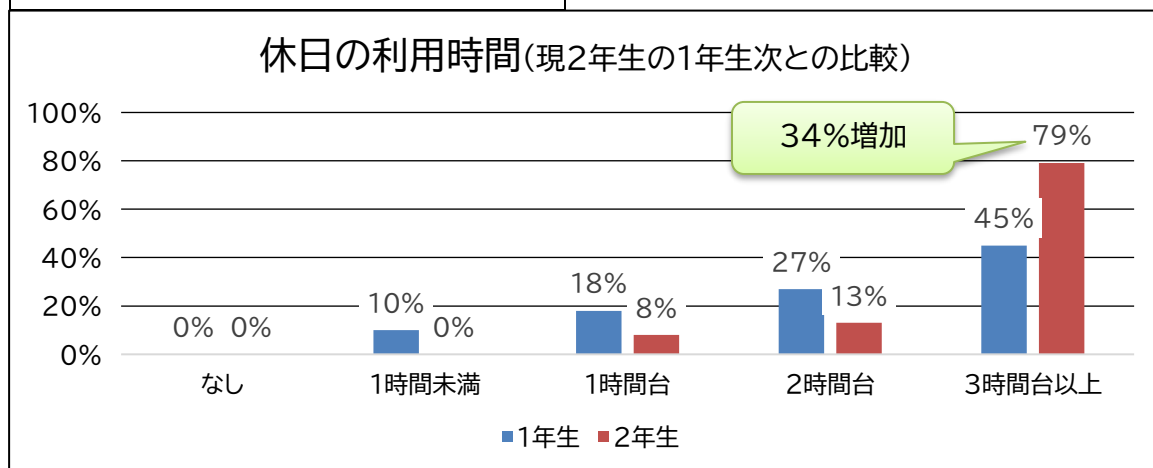
情報端末機器使用のルール確認を

大きなトラブルになる前に



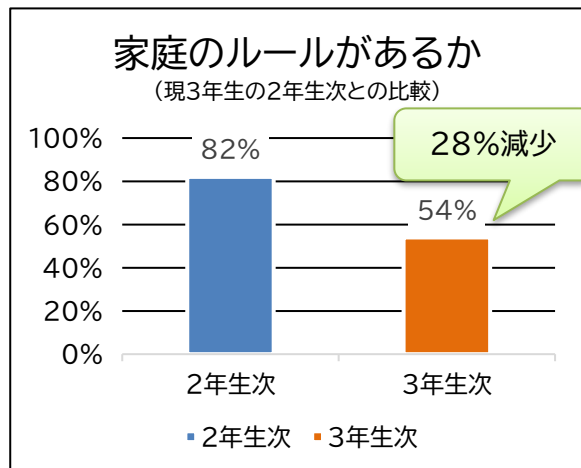
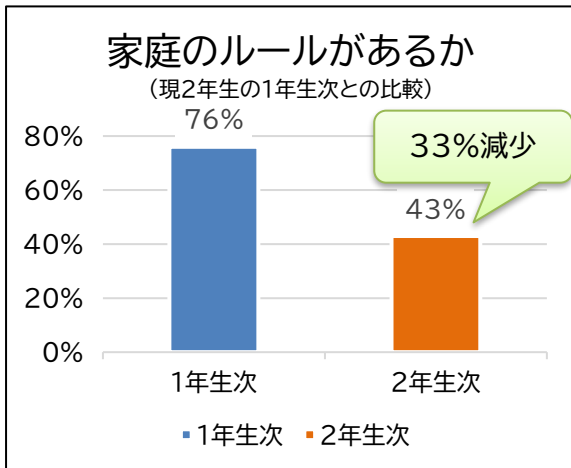
先日、全校生徒を対象に情報端末機器の使用状況についてのアンケートを実施しました。利用時間の長時間化、SNS を介して見知らぬ人とのトラブル、アプリ内での課金による金銭的なトラブルなど全国的にも加害者になったり、被害者になったりと現在でもトラブルが後を絶ちません。今回のアンケートから見える課題について、保護者の皆様にも考えてほしいと思います。

情報端末機器の利用時間について



気づいた点があると思います。どの学年も「3時間以上」の利用が昨年度より倍の人数となっています。3時間以上となっていますが7割から8割の生徒が常に画面を見ているような状況にあるということです。長時間利用は視力の低下、脳への影響など強く言われていますが、なによりも画面を見ていることにより、「家族内のコミュニケーション」が不足することにもつながります。相談したいこと、話したいことを家族の人ではなく、SNS 上の現実的には知らない人へ相談することとなり、家族の人が知らないうちに洗脳されたようになってしまう。なんてこともあるかもしれません。気を付けたいものです。

家庭のルールの有無について



ルールの有無については、「ある」と答えた生徒がガクンと減少しました。また、「ある」と答えた生徒の中でも「あるんだけど、なんだっけ?」「あるんだけど、守ってなくても・・・。」と答える生徒もいました。昨年度はルールの確認をした後のアンケートだったので、意識の高さが見られたかもしれません。家庭の中でルールの確認が必要となりそうです。「無法地帯」だけにはしないようご注意ください。

大きな落とし穴に落ちないように

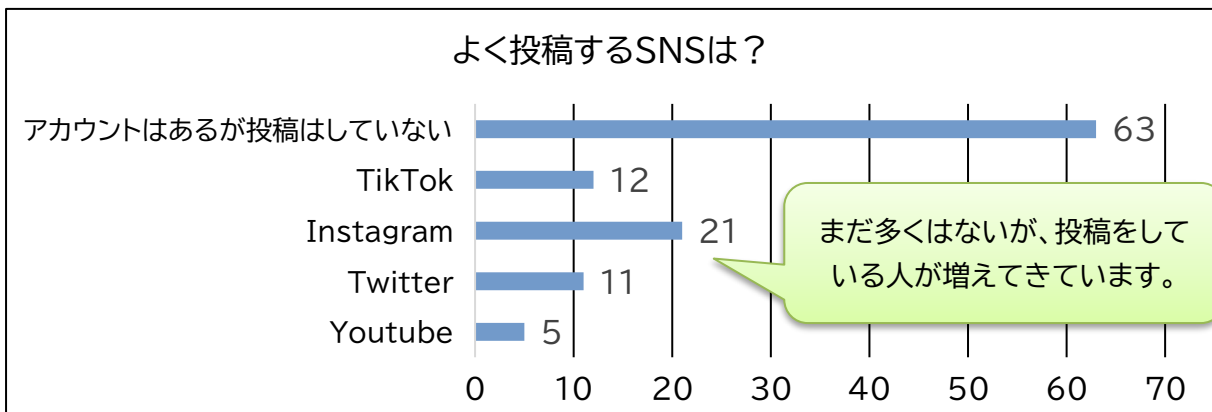


近年はSNSの機能が向上したため、手軽に誰でもネット上に画像、映像を投稿することができます。少し前まではネット上にあるものの閲覧し、楽しむことが主流でしたが、今となっては自分で撮影したものを投稿することが主流となってきているのではないかと感じます。でも、そこには大きな落とし穴もあるということ認識してください。

自分の位置情報が判明されての個人情報の流出、他人が映り込んでいる画像を投稿した後に訴えられる肖像権侵害、勝手に映してはいけないものが映り込んでしまった画像を投稿した後に訴えられる著作権侵害など知らないうちに法律上の犯罪を犯してしまっていることもあります。

多くのSNSは未成年の利用は保護者が同意しているという形になっており、SNSの中で何か問題があれば、「保護者が全責任をとらなければならない」ことになっているようです。

本校の生徒でも、動画や画像を簡単に投稿している事例も聞こえてきています。ぜひ、お子さまがどんな使い方しているかを確認してほしいと思います。



おまけ 1年生の結果

